

令和2年度重要生態系監視地域モニタリング推進事業(モニタリングサイト 1000)里地調査

生物多様性センター

愛媛県生物多様性センターでは、環境省が全国規模で基礎的環境情報の収集と長期生態系観測を行う重要生態系監視地域モニタリング推進事業(モニタリングサイト

1000)里地調査において、四国地区重要監視地点(コアサイト)となっている東温市上林地区における水質調査を、平成20年度から実施している。

令和2年度も引き続き、拝志川流域の5地点(河川4、ため池1)で4月23日、6月23日、8月20日、10月21日、12月23日、翌2月24日の計6回調査を実施した。結果は以下のとおりである。

令和2年度モニタリングサイト1000里地調査(水質調査)結果*

調査項目	4月	6月	8月	10月	12月	2月
水温(℃)	9.6	17.5	20.4	14.2	6.4	8.5
	12.3	26.5	30.3	17.3	6.4	10.1
水位(cm)	未計測	26.0	17.8	22.0	23.0	24.5
	760	760	760	760	760	760
水色	—	—	—	—	—	—
	15	16	17	16	15	16
透明度	100.0	98.3	94.8	100.0	100.0	100.0
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
pH	7.1	7.2	7.3	7.2	7.0	7.1
	6.8	6.8	7.0	6.8	6.8	7.0

※上段は河川4地点の平均値、下段はため池1地点の値

調査方法は、「モニタリングサイト1000里地調査マニュアル」(環境省・(財)日本自然保護協会)による。

令和2年度特定希少野生動植物保護区巡回調査

生物多様性センター

愛媛県野生動植物の多様性の保全に関する条例により、特に保護を図る必要がある23種が「特定希少野生動植物」として指定されている。中でも、生息地限られ保護が必要な6区域が「特定希少動植物保護区」として指定されており、定期的な巡回を行うとともに生息・生育状況の調査及び保護区の管理を行った。

1 片上地区アキサンショウウオ保護区

4月14日、卵嚢はふ化しており、幼生を確認。7月14日に幼生は確認できなかったが、例年この時期までに保護区から山林へ移動している。7月以降、降雨による土砂の堆積が見られたが、8月までに土砂の除去が行われた。3月17日には卵嚢が6個確認できた。

2 宅間地区アキサンショウウオ保護区

4月14日、卵嚢はふ化しており、幼生を確認。7月14日に幼体は確認できなかったが、例年この時期までに保護区から山林へ移動している。7月以降、降雨による土砂の堆積が見られたが、8月までに土砂の除去が行われ

た。2月16日に卵嚢が5個確認でき、3月17日に卵嚢が5個確認できた。なお、保護区より山林に近い水路では卵嚢が31個確認できた。

3 台地区ナゴヤダルマガエル保護区

6月9日に保護区の状況を確認したが、保護区の開発等はない。なお、ナゴヤダルマガエルの生息確認はなかった。

4 庄内地区ハッチョウトンボ保護区

年間を通じて、湿地状態が維持された。(梅雨明け後、8月21日頃の降水がない時期は保全団体が灌水を実施)5月27日に今年度最大の891頭の羽化が確認された。

5 織田ヶ浜地区ハマビシ保護区

6月15日に発芽が確認され、2~3cmの株幅であった。7月14日には株が広範囲に生育しており、開花も見られた。7月31日から8月21日の間は、ほとんど降雨はなかったが、生育は良好で果実も見られた。9月7日、10月14日には多くの果実が見られたが、11月13日には葉の黄化や落葉し、12月16日には地上部が確認できた株は3株のみ、1月18日には地上部は見られなかった。

6 織田ヶ浜地区ウンラン保護区